

鹿教湯温泉も満喫できる宿へ 大江戸温泉物語 鹿教湯 藤館・桜館



↑桜館の「陽の湯」の露天風呂

『名湯百選』第一号の認定も受け「回復力の温泉」として多くの湯治者を受け入れてきた鹿教湯温泉。藤館と桜館の2館からなり、両館で温泉めぐりが楽しめる人気の施設です。

藤館は、エリア最大級の野天風呂「文珠の湯」が人気で5月中旬には藤の花をながめながらゆったりと温泉をお楽しみいただけます。桜館では、薬草温泉が人気で「自然薬草温泉」は、生薬100パーセントの漢方薬草を天然温泉に採みだした湯でピリピリ・ジンジンとした刺激のある湯と薬草の香りを楽しむ事ができ、ほかにはない湯を堪能する事ができます。宿泊のお客様には、両館のお風呂をお楽しみいただけます。

お食事は長野県の空気のきれいな山や溪流など



↑自炊場もある桜館は湯治宿泊も



ゆったり湯を満喫♪ 藤館の野天風呂 (5月中旬) ←客室はさまざまなタイプがあります

で育った美味しい山の幸をたくさん揃えた四季折々のバイキングが人気で、信州産そば粉を使った料理長お手製の「手打ち信州そば」が自慢です。上田市は松茸がとれることでも有名です。松茸料理が好きな人はぜひ秋にご利用ください。また長野県ならではの「馬刺し」「りんご和牛ステーキ」など(別料金)の料理もあるので、ぜひゆったりと味わってください。3種類の地酒が楽しめる「お試しセット」が人気です。さまざまな魅力あふれる施設でお待ちしております。



鹿教湯温泉 効能レポート

温浴振興協会理事 / 諸星敏博 談

『やわらかい温泉で杖いらすの湯』

鹿に姿を変えた文殊菩薩が、信仰心の厚い狛師に温泉の場所を教えたという開湯伝説があり、温泉名もこれに因み、鹿が教えた湯すなわち「鹿教湯」。歴史深く、効能高い鹿教湯温泉は、『名湯百選』第一号の認定を受けた温泉です。

これぞ癒しの地、体も心も穏やかになれる鹿教湯温泉は単純泉(弱アルカリ性低張性高温泉)で疲労回復をはじめ多くの効能があるとされるお湯。山奥の湯治場らしい静かな風情と辺り一面に広がる豊かな自然が大きな魅力です。

「とっても柔らかい」と評判のお湯で無色透明、クセのないのも特徴。湯上りあとは、カラダの芯から温まったのが実感できます。神経痛・関節痛・リュウマチなど体の疲れを癒すのに最適の温泉でリハビリを中心に取り組む鹿教湯病院や、クアハウスなども存在する古くから湯治場としての歴史がここにあります。

お仕事でパソコンの前でつつい猫背になっている女子が悩みがちな「肩こり」には、ゆっくりと温泉に浸かってストレッチを。猫背も肩こりも解消すれば、姿勢もよくなり男子の注目をあびるかも。



↑夕食・朝食バイキングは藤館で

大江戸温泉物語 鹿教湯
所在地 上田市西内1258(桜館 上田市西内1160)
☎ 0570-011262
料 平日大人4名1室利用お一人様7,980円~(税別)
日帰り利用 あり
HP <https://kakeyu.oedoons.jp/>

鹿教湯名所めぐり

第16番 万年九郎沼大明神

幾多の日照りから人々を救ってきた雨乞いの神様。道が険しい奥宮へは、訪れる人もめったにないそう。

第17番 熊倉地蔵

昭和8年の雪崩で奪われた尊い命。この霊を弔い、悲劇が繰り返されないことを祈って仲間が建立しました。

第18番 笠岩神社

子宝の神様と崇められてきた巨大な岩石があります。その形から、戦時中は写真の公開が禁止だったそう。

第13番 展望台

月見堂から山道を200mほど登るとあります。鹿教湯温泉の全景が望め、パノラマの世界が楽しめます。

第14番 権現社

真田幸村に付き、徳川幕府の天下平定で窮地に立たされた斉藤一族。忠誠心の証として祭った権現社です。

第15番 山の神橋

三才山方面へ向かう途中にある橋。近くにつつじ公園があり、鳥のさえずりも聞こえるのどかなエリアです。

第10番 馬頭観世音

かつてこの辺りで愛馬を事故で亡くした馬方が、その馬の霊を慰め、これからの安全を祈り建てたそうです。

第11番 月見堂

温泉街と田園風景を一望。中秋の名月の時は、周囲の山並みが幻想的に浮かび上がる様子も楽しめます。

第12番 稲荷神社

秩父の三峯神社の分社で、火災・盗難・厄除けにご利益があるという三峯様。月見堂のすぐ上にあります。

第1番 温泉祖神

温泉街の真ん中にある、名所めぐりのスタート地点。祀られた恵比寿様と大黒様は、文殊堂の守護神です。

第2番 湯坂・五台橋

中ほどの共同浴場前が温泉湧出口跡という湯坂。勾配と距離が歩行リハビリに最適だそうです。坂を下ると、屋根付きの五台橋。現世と神の世界を結ぶと言われる、趣ある橋です。

第3番 文殊堂(県宝)

天井に描かれた龍で知られる文殊堂。夜は抜き出て、川へ水を飲みに行くと言い伝えられるほど、まるで生きているような姿が見事です。春祭りは知恵の団子まきが行われます。

第4番 みどり橋

遊歩道を抜けると現れる「みどり橋」。四季折々の景観が楽しめます。野生のリスに会えることもあるとか。

第5番 万年橋

どんな大水でも流されたことがないとこの名に。夫婦が手を取り合い渡れば、幸せになれると伝わります。

第6番 秋葉神社

秋葉大明神から夢枕で家の消失を告げられた旅人が、家の再興後に感謝し、火災守護神を奉った神社です。

第7番 天竜寺

文殊堂の別当。本堂には釈迦牟尼尊仏が安置され、境内には交通安全や子育て守護の観音立像があります。

第8番 鹿教湯天神宮

歌碑の丘の坂道の上にあります。60戸ほどの集落が、寛保1年の大洪水で流失した悲しい歴史ある地です。

第9番 諏訪神社

地域の氏神様。江戸時代建造の神楽殿の回り舞台は国数の文化財で、今も祇園祭では舞が奉納されます。



第21番 温泉薬師堂

名所めぐりの最終地点がこの温泉薬師堂です。かつて疫病が流行った折に退治を祈念して安置された仁王様と共に、無病息災・病平癒の仏様として厚い信仰を集める薬師如来です。

第20番 紅葉橋

みどり橋と夫婦橋で、夫婦で渡ると幸せに暮らせると言い伝えられています。橋周辺の風情も楽しめます。

第19番 内村ダム

昭和59年に完成。美しいダム湖は、四季の影を映し出します。堤防周辺は整備された遊歩道が続く公園です。

豊かな自然にふれながら鹿教湯散策や、紅葉まつりを楽しみに出かけてみて下さい。



鹿教湯温泉への交通アクセス
車/長野自動車道松本I.Cより50分 電車/JR松本駅よりバスで50分
<http://www.kakeyu.or.jp/>
上田への交通アクセス
車/上越自動車道松本I.C 電車/北陸新幹線松本駅下車
<http://www.city.ueda.nagano.jp/kankojoho/>



効能の高い鹿教湯の湯。周囲の景色を楽しみながら、ゆたかに癒される。

鹿教湯温泉物語

「鹿教湯(かけゆ)」温泉という名の由来には、こんな話が残っています。
～昔むかし、信仰心の厚い狛師が狩りに出かけ、良い鹿を発見。すぐに放った矢は背中中に命中したものの、鹿はそのまま走り去った。次の日、再びその鹿を探すと、背中に矢が刺さったまま、気持ち良さそうに水浴びをしている。そと近づくと、怪我をしているはずの鹿が、元気よく走り去ってしまった。手を入れてみると、その水たまりは湯。そこに文殊菩薩様が現れ、「信仰心の厚さに応えて、湯のありがたさを教えた。この湯を広く世に知らしめよ」と告げた。その後、鹿が教えた湯ということで村人たちに「鹿教湯」と呼ばれるようになった～
鹿は文殊菩薩様の化身だったのでしょうか。いずれにしてもこの湯は、今なお多くの人々に愛されています。

旅の記念に スタンプラリーもぜひ!



「鹿教湯二十一番名所めぐり」としてスタンプラリーも実施。スタンプ帖は大江戸温泉鹿教湯をはじめ、鹿教湯の各館のフロントや、旅館組合事務所、1冊200円で販売中です。



第13回 上田城紅葉まつり



真田昌幸によって築城された上田城。それから400年余り経った今でも愛されるその城跡で、毎年秋に行われるお祭りです。幸村と十勇士に扮した「信州上田おもてなし武将隊」をはじめ日本各地の武将隊が集結するステージイベントや、上田地域のご当地グルメや特産品に出会えるコーナーなど、年齢を問わず楽しめます。赤や黄色で彩られた城跡公園を巡りながら、いろいろな体験を楽しんでみては。本丸跡では、10月26日から11月10日まで「上田菊花展」も開催。丹精込めて育てられた菊の花を鑑賞するのもおすすめです。

開催日時 2019年11月2日(土)～3日(日)
※時間はイベントにより異なる
会場 上田城跡公園 入場料 無料

